

民間ネット調査「環境事業に関するアンケート」（令和3年7月実施）の結果

○調査目的

大阪市では、地球温暖化対策やヒートアイランド対策の普及拡大に向けた取組や、生物多様性に関する事業等を実施しています。

そこで、市民のみなさまが大阪市の環境関連事業に関して、どのような意識やお考えをお持ちになっているのかをお聞きし、効果的な事業展開を図っていくうえでの参考にするため、今回の調査を実施します。

○調査期間

令和3年7月13日から7月14日

○調査内容

- (1) 地球温暖化対策について
- (2) ヒートアイランド対策について
- (3) 生物多様性について

○回答構成

(1) 有効回答数 500回答 (100%) (調査対象 500人)

(2) 性別 男性：250回答

女性：250回答

(3) 回答者属性

		男性	女性	合計	割合
年代別	29歳以下	50	50	100	20.0%
	30歳代	50	50	100	20.0%
	40歳代	50	50	100	20.0%
	50歳代	50	50	100	20.0%
	60歳以上	50	50	100	20.0%
合計		250	250	500	100.0%
地域別	中心ブロック	60	66	126	25.2%
	西部ブロック	28	23	51	10.2%
	北部ブロック	42	41	83	16.6%
	東部ブロック	59	53	112	22.4%
	南部ブロック	61	67	128	25.6%
合計		250	250	500	100.0%

【地域別】

中心ブロック：北区・福島区・中央区・西区・天王寺区・浪速区

西部ブロック：此花区・港区・大正区・住之江区

北部ブロック：西淀川区・淀川区・東淀川区

東部ブロック：都島区・東成区・生野区・旭区・城東区・鶴見区

南部ブロック：阿倍野区・住吉区・東住吉区・平野区・西成区

※本調査結果についての留意事項

- ・質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。
- ・数値(%)は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入で算出しています。したがって、内訳の合計が全体の合計に一致しないことがあります。
- また、複数回答の質問については、該当者数を母数に比率表示しています。

〔参考〕

（1）平成21年度に実施した「ヒートアイランド対策」についての世論調査

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた20歳以上の大阪市住民2,500人

調査期間：平成21年9月25日から11月12日

調査内容：（1）「ヒートアイランド現象」について

（2）「打ち水」について

（3）「緑のカーテン・カーペット」について

（4）「風の道」について

（5）「ヒートアイランド現象の緩和」について

有効回答数：1,591回答（63.6%）

（2）平成23年度に実施した「大阪市の環境施策について」の市政モニターアンケート

調査対象：市政モニター600人

調査期間：平成23年6月28日から7月7日

調査内容：（1）「生物多様性」の認知度について

（2）暮らしの中での「生物多様性」の恵みについて

（3）「生物多様性」の危機の認知度について

（4）自然や生き物への関心について など

（3）平成24年度に実施した「ヒートアイランド対策」についての市政モニターアンケート

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた20歳以上の大阪市住民889人

調査期間：平成24年10月29日から11月9日

調査内容：平成21年度世論調査と概ね同様の内容

有効回答数：589 回答（66.3%）

（4）平成 25 年度に実施した「環境関連の事業」についての市政モニターアンケート

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市住民 914 人

調査期間：平成 25 年 11 月 8 日から 11 月 18 日

調査内容：（1）環境関連のイベント・講座について
（2）身近なヒートアイランド対策について
（3）生物多様性について

有効回答数：610 回答（66.7%）

（5）平成 26 年度に実施した「環境関連の事業」についての市政モニターアンケート

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市住民 796 人

調査期間：平成 27 年 1 月 30 日から 2 月 9 日

調査内容：（1）環境関連のイベント・講座について
（2）身近なヒートアイランド対策について
（3）生物多様性について

有効回答数：561 回答（70.5%）

（6）平成 27 年度に実施した「環境関連の事業」についての市政モニターアンケート

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市住民 798 人

調査期間：平成 28 年 1 月 29 日から 2 月 8 日

調査内容：（1）環境関連のイベント・講座について
（2）身近なヒートアイランド対策について
（3）生物多様性について
（4）水環境について

有効回答数：508 回答（63.7%）

（7）平成 28 年度に実施した「環境関連の事業」についての市政モニターアンケート

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市民 796 人

調査期間：平成 28 年 9 月 16 日から 9 月 26 日

調査内容：（1）環境関連のイベント・講座について
（2）身近なヒートアイランド対策について
（3）生物多様性について
（4）水環境について

有効回答数：622 回答（78.1%）

(8) 平成 29 年度に実施した「環境関連の事業」についての市政モニターアンケート

調査対象 : 大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市民
800 人

調査期間 : 平成 29 年 9 月 8 日から 9 月 19 日

調査内容 : (1) 環境学習のイベント・講座について

(2) 地球温暖化対策について

(3) 自動車の保有状況について

(4) 身近なヒートアイランド対策について

(5) 生物多様性について

(6) 水環境について

有効回答数 : 642 回答 (80.3%)

(9) 平成 30 年度に実施した「環境関連の事業」についての市政モニターアンケート

調査対象 : 大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市民
800 人

調査期間 : 平成 30 年 9 月 14 日から 9 月 26 日

調査内容 : (1) 環境学習のイベント・講座について

(2) 地球温暖化対策について

(3) 身近なヒートアイランド対策について

(4) 生物多様性について

(5) 水環境について

有効回答数 : 649 回答 (81.4%)

(10) 令和元年度に実施した「環境関連の事業」についての民間ネット調査

調査対象 : 大阪市に居住している外国人登録者を含めた 18 歳以上の大阪市民
500 人

調査期間 : 令和元年 9 月 6 日から 9 月 12 日

調査内容 : (1) 環境学習のイベント・講座について

(2) 地球温暖化対策について

(3) 身近なヒートアイランド対策について

(4) 生物多様性について

(5) 水環境について

有効回答数 : 500 回答 (100%)

(11) 令和 2 年度に実施した「環境関連の事業」についての民間ネット調査

調査対象 : 大阪市に居住している外国人登録者を含めた 18 歳以上の大阪市民
500 人

調査期間 : 令和 2 年 8 月 18 日から 8 月 19 日

調査内容 : (1) 地球温暖化対策について

(2) ヒートアイランド対策について

(3) 生物多様性について

(4) 水環境について

有効回答数：500 回答 (100%)

○結果概要

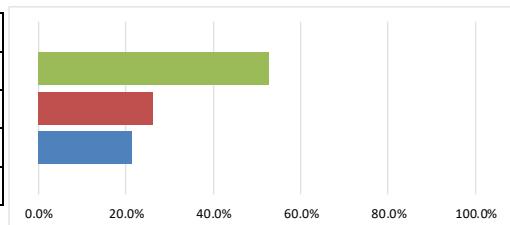
(1) 地球温暖化対策について

Q 1. <地球温暖化への関心>

あなたは、地球温暖化について関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

Q1

		回答数	比率
1	関心がある	263	52.6%
2	関心がない	131	26.2%
3	わからない	106	21.2%
回答総数		500	100.0%



5割以上の方が地球温暖化への関心があると回答している一方で、2割以上の方が関心がないと回答している。

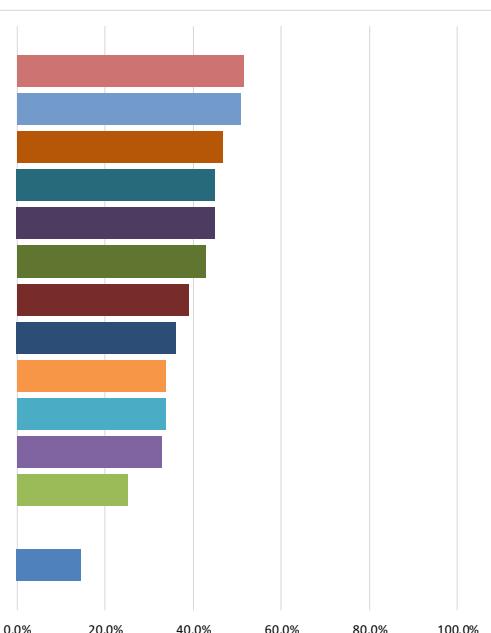
Q 2. <省エネ行動の実施状況>

あなたは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを減らすためにどのような省エネルギーの取組をしていますか。

あてはまるものをすべてお選びください。

Q2

		回答数	比率
1	見ていないテレビはこまめに消す	257	51.4%
2	ごみをきちんと分別して出す	254	50.8%
3	マイバッグ・マイボトル・簡易包装などでごみを減らす	233	46.6%
4	冷暖房時の室温を夏は28℃程度、冬は20℃程度になるように調節する	225	45.0%
5	食事は食べきり、食品ロスを減らす	225	45.0%
6	LED電球を使用している	214	42.8%
7	お風呂は続けて入浴したり、シャワーを不必要に流したままにしたくない	195	39.0%
8	冷蔵庫のドアの開閉を減らし、ものを詰め過ぎない	180	36.0%
9	洗濯物はまとめ洗いをして洗濯回数を少なくする	174	34.8%
10	トイレの温水洗浄便座を使わないときは、フタをしめる	168	33.6%
11	部屋をかたづけてから掃除機をかける	164	32.8%
12	電気製品(電気ポットなど)を長時間使用しないときは、プラグを抜く	125	25.0%
13	その他(具体的に:)	0	0.0%
14	取り組んでいない(Q4へ)	73	14.6%
回答総数		2487	
該当者数		500	



8割以上の方が何らかの省エネルギーの取組を行っている。

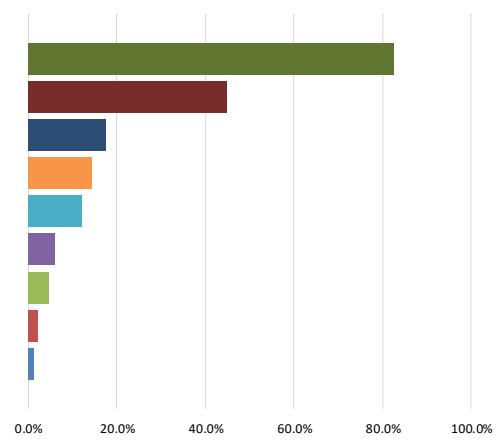
Q 3. <省エネ行動を始めたきっかけ>

Q 2で「1」～「13」を回答された方にお聞きします。

あなたが始めたきっかけをお選びください。あてはまるものをすべてお選びください。

Q3

		回答数	比率
1	節約になるから	352	82.4%
2	地球温暖化による気候変動の影響や被害などにより環境を守ることの必要性を感じるから	191	44.7%
3	家族がやっているから	74	17.3%
4	一人暮らしや結婚、退職など、ライフステージが変わったから	61	14.3%
5	インターネットやテレビ、SNS等で見たから	51	11.9%
6	学校で勉強した、または、子どもが学校で勉強してきたから	25	5.9%
7	友人や近所の方が、取り組んでいたから	19	4.4%
8	講演会・勉強会等に参加したから	9	2.1%
9	その他(具体的に:)	5	1.2%
回答総数		787	
該当者数		427	



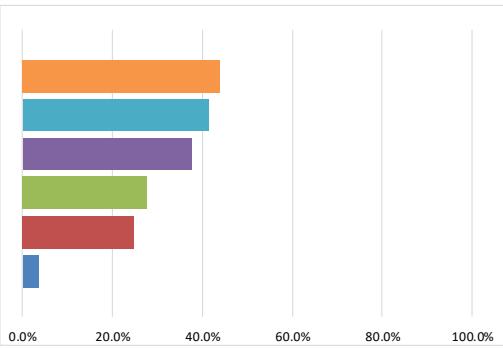
節約になるからと回答した方が 8 割以上、次いで 4 割以上の方が地球温暖化等により環境を守ることの必要性を感じるからと回答している。

Q 4. <地球温暖化対策に取り組む際の情報>

地球温暖化対策に取り組む際に、どのような情報があると分かりやすい、取り組みやすいと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

Q4

		回答数	比率
1	エネルギー(電気・ガス等)の消費量の目標	220	44.0%
2	地球温暖化による気候変動の影響と将来予測などの情報	207	41.4%
3	温室効果ガス(CO ₂ 等)の排出量の目標	188	37.6%
4	具体的な地球温暖化対策の取組み(省エネ行動等)に関する目標とその効果(CO ₂ 削減効果・節約効果等)の提示	138	27.6%
5	大阪市の地球温暖化対策のビジョン(大阪の成長につながる脱炭素社会「ゼロカーボン おおさか」)の提示	124	24.8%
6	その他(具体的に:)	18	3.6%
回答総数		895	
該当者数		500	



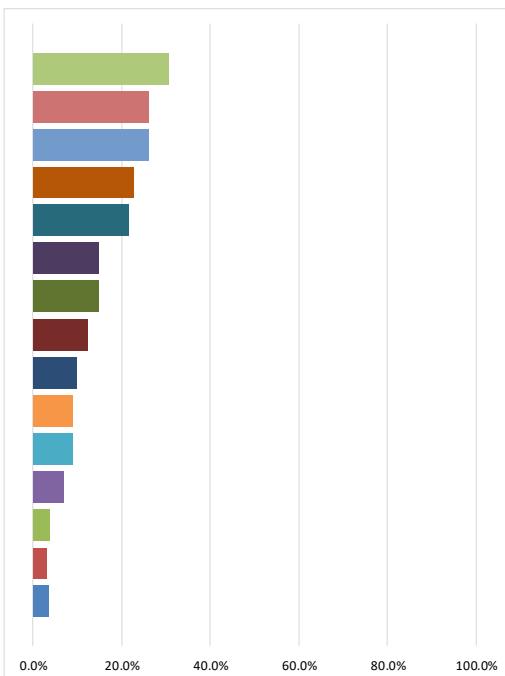
4 割以上の方がエネルギー(電気・ガス等)の消費量の目標及び地球温暖化による気候変動の影響と将来予測などの情報があると分かりやすいと回答している。

Q 5. <大阪市の地球温暖化対策>

地球温暖化対策として、大阪市はどのようなことに優先的に取り組むべきだと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

Q5

		回答数	比率
1	太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を促進する	154	30.8%
2	食品ロス対策やプラスチックごみの削減など、省資源と資源循環を促進する	131	26.2%
3	緑化を推進する。また、国産木材の利用を促進する	131	26.2%
4	公共交通機関や徒歩・自転車等の移動が便利なまちづくりを進める	114	22.8%
5	水素など新たなエネルギーの活用を進める	108	21.6%
6	遮熱・断熱仕様等の導入など、省エネ性能の高い建築物の普及を拡大する	78	15.6%
7	EV(電気自動車)やFCV(燃料電池自動車)の普及を拡大する	74	14.8%
8	市役所等公共施設において省エネ化や再生可能エネルギーの導入を拡大する	61	12.2%
9	地球温暖化対策に資する国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」を推進する	49	9.8%
10	海外の都市との連携等により国際的な地球温暖化対策に貢献する	45	9.0%
11	地球温暖化対策に関するビジネスの活性化を進める	44	8.8%
12	脱炭素マインドを醸成する環境教育・普及啓発を推進する	35	7.0%
13	事業活動の脱炭素化に向けた事業者の自主的な取組を促進する	19	3.8%
14	地域特性を活かした環境技術の実装された脱炭素型のまちづくりに取り組む	16	3.2%
15	その他(具体的に:)	18	3.6%
回答総数		1077	
該当者数		500	



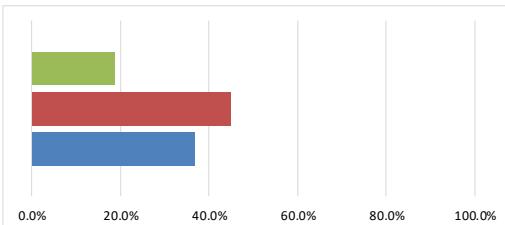
太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入促進に優先的に取り組むべきと回答している方が3割以上と最も多く、次いで食品ロス対策やプラスチックごみの削減など、省資源と資源循環の促進及び緑化の推進・国産木材の利用促進との回答が多くなっている。

Q 6. <気候変動への適応の認知度>

気候変動への「適応（*）」についてお伺いします。あなたは「適応」という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

Q6

		回答数	比率
1	意味も含めて知っていた	93	18.6%
2	言葉は知っているが、意味は知らなかった	224	44.8%
3	言葉自体を知らなかった	183	36.6%
回答総数		500	100.0%



意味も含めて「適応」という言葉を知っていた方は2割未満にとどまっている。

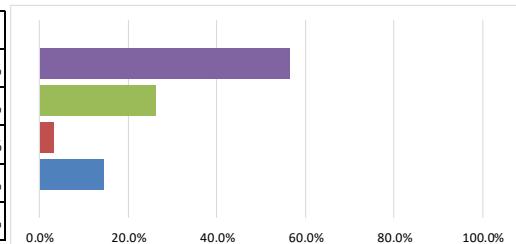
(2) ヒートアイランド対策について

Q 7. <ヒートアイランド現象の認知度>

あなたは、『ヒートアイランド現象（*）』という言葉や内容を知っていますか。もっとも近いものを1つお選びください。

Q7

	回答数	比率
1 言葉も内容も知っていた	281	56.2%
2 言葉は知っていたが、内容は知らなかった	131	26.2%
3 内容は知っていたが、言葉は知らなかった	16	3.2%
4 言葉も内容も知らなかった	72	14.4%
回答総数	500	100.0%



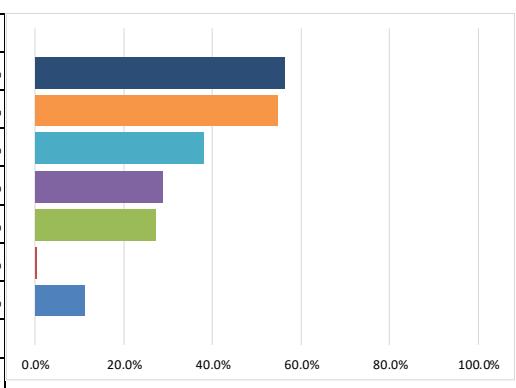
半数以上の方が言葉も内容も知っていたと回答している。

Q 8. <ヒートアイランド現象のイメージ>

「ヒートアイランド現象」について、あなたが生活していくうえで感じることは何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

Q8

	回答数	比率
1 夜が暑く、夜中に寝苦しい	282	56.4%
2 街なかが暑く、日中に出歩きにくい	274	54.8%
3 暑さによりエアコンの使用頻度が多くなり、電気代が高くなる	190	38.0%
4 局所的な集中豪雨による浸水被害などが心配である	144	28.8%
5 体調管理しにくく、また熱中症などが心配である	137	27.4%
6 その他(具体的に:)	1	0.2%
7 あてはまるものはない	56	11.2%
回答総数	1084	
該当者数	500	



5割以上の方が夜が暑く、夜中に寝苦しい及び街なかが暑く、日中に出歩きににくいと回答している。

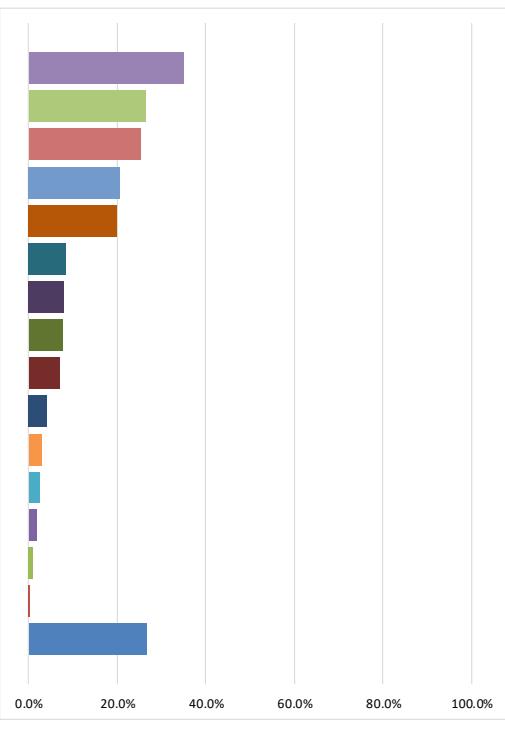
Q 9. <ヒートアイランド対策の取組>

ヒートアイランド対策の取組として、次にあげるものがあります。

あなたが取り組んでいるものをすべてお選びください。

Q9

		回答数	比率
1	LED電球などの高効率照明の使用	175	35.0%
2	省エネ家電(テレビ、冷蔵庫、エアコン等)の使用	132	26.4%
3	公共交通機関の積極的な利用	126	25.2%
4	打ち水(*2)、ドライミストなど水を活用	103	20.6%
5	緑のカーテン(*1)、よしずによる日差しの遮断	99	19.8%
6	緑化、高反射率塗装などによる建物表面の高温化の防止	42	8.4%
7	建物の断熱化(複層ガラス、内窓、断熱壁など)	40	8.0%
8	エコカー(*3)の使用	39	7.8%
9	エコドライブ(*4)の実施	35	7.0%
10	高効率給湯器(エコキュート、エコジョーズなど)(*6)の設置	20	4.0%
11	太陽光発電設備(*8)の設置	14	2.8%
12	家庭用コーポレーティブ・ソリューションシステム(エコウイル、エネファームなど)(*7)の設置	12	2.4%
13	見える化機器・HEMS(*5)の使用	9	1.8%
14	太陽熱温水器(*9)の設置	5	1.0%
15	その他(具体的に:)	1	0.2%
16	取り組んでいない	133	26.6%
回答総数		985	
該当者数		500	



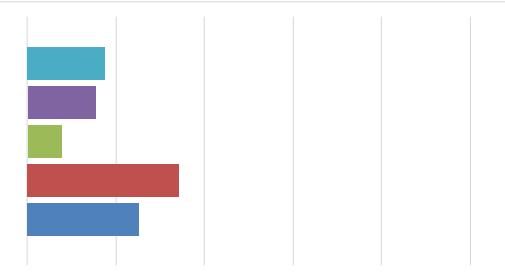
7割以上の方が何らかのヒートアイランド対策に取り組んでいると回答している。

Q10. <打ち水の実施状況>

個人でできる身近なヒートアイランド対策のひとつに『打ち水』がありますが、あなたは、夏場に『打ち水』(草花や木への水やり等も含めて、夏場に水をまく行為)を行っていますか。もっとも近いものを1つお選びください。

Q10

		回答数	比率
1	毎年行っている	87	17.4%
2	毎年ではないが行っている	77	15.4%
3	以前は行っていたが、いまは行っていない	38	7.6%
4	行いたいが、実施できる環境がない	172	34.4%
5	意識がなく、全く行っていない	126	25.2%
回答総数		500	100.0%



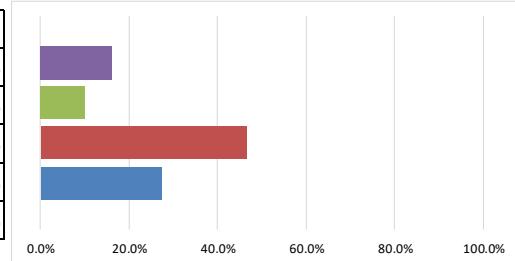
毎年行っている、毎年ではないが行っていると回答された方が約3割にとどまっている。

Q11. <緑のカーテン・カーペットづくりの実施状況>

『打ち水』のほか、身近なヒートアイランド対策のひとつに『緑のカーテン・カーペット（＊）』づくりがありますが、あなたは夏場『緑のカーテン・カーペット』づくりに取り組んでいますか。あてはまるものを1つお選びください。

Q11

		回答数	比率
1	緑のカーテン・カーペットづくりのいずれか1つでも取り組んでいる	80	16.0%
2	以前は取り組んでいたが、今は取り組んでいない	50	10.0%
3	取り組んでみたいが、取り組める環境がない	233	46.6%
4	取り組んでいないし、これからも取り組むつもりはない	137	27.4%
	回答総数	500	100.0%



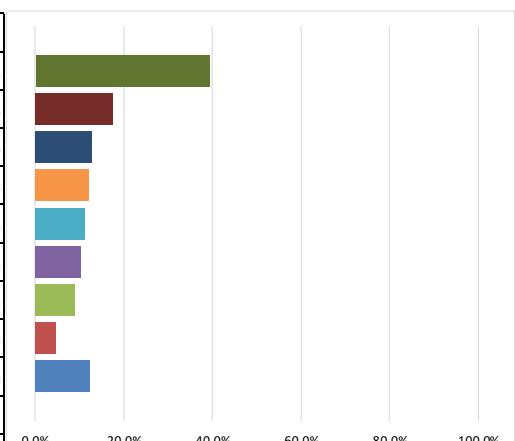
約半数の方が緑のカーテン・カーペットに取り組んでみたいが取り組める環境がないと回答している。

Q12. <緑のカーテン・カーペットに関する情報>

あなたはどこで緑のカーテン・カーペットを知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

Q12

		回答数	比率
1	テレビ、新聞、雑誌	196	39.2%
2	家族、友人、知人	87	17.4%
3	大阪市ホームページ	64	12.8%
4	区の広報紙	60	12.0%
5	SNS（Twitter・Facebook・Instagram等）	56	11.2%
6	チラシ・リーフレット	52	10.4%
7	大阪市施設での取組を見て	44	8.8%
8	なにわエコスタイル（大阪市が運営する環境学習情報発信サイト）	23	4.6%
9	その他（具体的に：）	61	12.2%
	回答総数	643	
	該当者数	500	



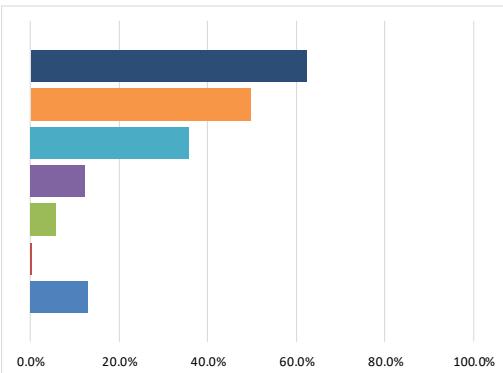
テレビ、新聞、雑誌から情報を得ている人と回答した方が最も多くなっている。

Q13. <夏を快適に過ごすために工夫していること>

あなたが暑い夏を快適に過ごすためにあなたが工夫していることはありますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

Q13

	回答数	比率
1 クーラーなどの冷房器具を適切に使用している	311	62.2%
2 窓、扉を開けて風とおしをよくしている	248	49.6%
3 クールビズ、日傘の使用など服装を工夫している	179	35.8%
4 気象予報、暑さ指数(WBGT)(*2)、熱中症予防に関する情報を活用している	61	12.2%
5 クールスポット(*1)を活用している	29	5.8%
6 その他(具体的に:)	1	0.2%
7 工夫していることはない	65	13.0%
回答総数	894	
該当者数	500	



8割以上の方が暑い夏を快適に過ごすために何らかの工夫を行っている。

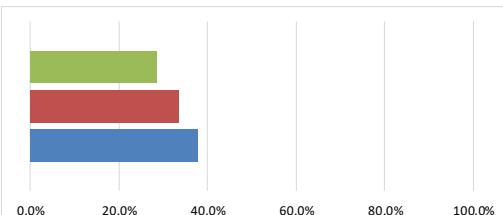
(3) 生物多様性について

Q14. <生物多様性の認知度>

私たちは、日々の暮らしの中で「生物多様性(*)」の多大なる恵みを受けています。あなたは、「生物多様性」という言葉や意味を知っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

Q14

	回答数	比率
1 言葉も意味も知っていた	143	28.6%
2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった	168	33.6%
3 言葉も意味も知らなかった(Q16へ)	189	37.8%
回答総数	500	100.0%



「生物多様性」について言葉も意味も知っていたと回答した方は3割未満にとどまっている。

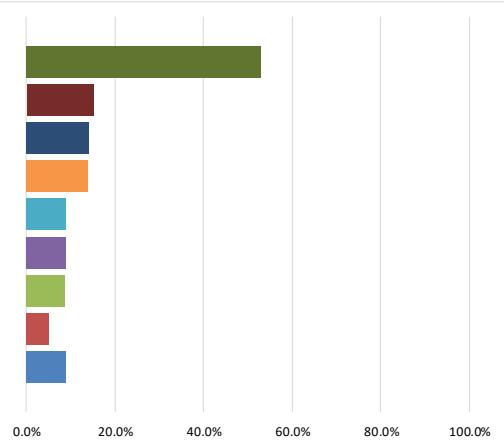
Q15. <生物多様性に関する情報>

Q14で「1」もしくは「2」を回答された方にお聞きします。

あなたは「生物多様性」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

Q15

	回答数	比率
1 テレビ、新聞、雑誌	165	53.1%
2 SNS(Twitter・Facebook・Instagram等)	47	15.1%
3 大阪市ホームページ	44	14.1%
4 家族、友人、知人	43	13.8%
5 大阪市関連施設でのイベント、展示等	28	9.0%
6 リーフレット、冊子	28	9.0%
7 大阪市の開催する環境学習講座	27	8.7%
8 なにわエコスタイル(大阪市が運営する環境学習情報発信サイト)	16	5.1%
9 その他(具体的に:)	28	9.0%
回答総数	426	
該当者数	311	



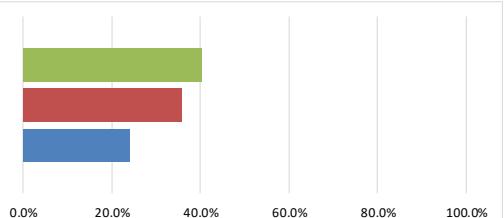
5割以上の方がテレビ、新聞、雑誌で生物多様性の言葉を知ったと回答している。

Q16. <生物多様性の恵み>

あなたは日々の暮らしの中で、自然や生き物(*)を身边に感じますか。あてはまるものを1つお選びください。

Q16

	回答数	比率
1 感じる	201	40.2%
2 感じない(Q18へ)	179	35.8%
3 わからない(Q18へ)	120	24.0%
回答総数	500	100.0%



日々の暮らしの中で、自然や生き物を感じると答えた方が4割以上となっている。

Q17. <自然や生き物を身边に感じるとき>

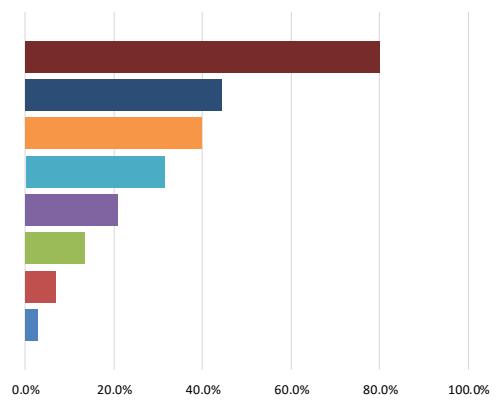
Q16で「1」を回答された方にお聞きします。

あなたは日々の暮らしの中で、どのような場所で自然や生き物を身边に感じますか。

あてはまるものをすべてお選びください。

Q17

		回答数	比率
1	公園	161	80.1%
2	川辺	89	44.3%
3	道路	80	39.8%
4	寺・神社	63	31.3%
5	海辺	42	20.9%
6	建物(寺、神社、学校を除く)	27	13.4%
7	学校	14	7.0%
8	その他(具体的に:)	6	3.0%
回答総数		482	
該当者数		201	



8割以上の方が公園で自然や生き物を身边に感じるご回答している。

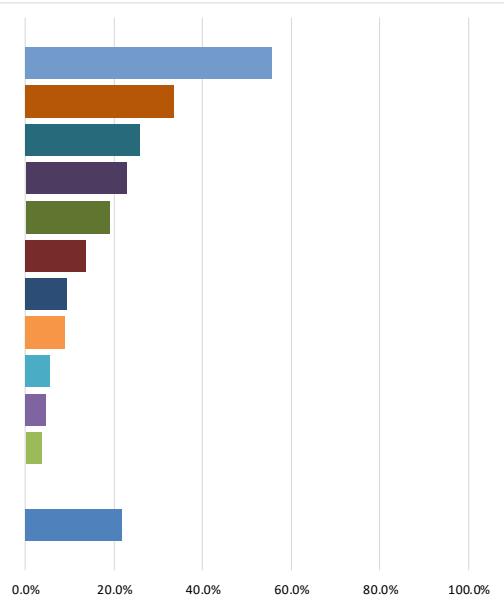
Q18. <生物多様性保全に貢献する取組み>

生物多様性を保全し、自然と共生していくためには、一人ひとりの行動も重要です。

あなたが現在実行していることはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

Q18

		回答数	比率
1	食品ロスなどの無駄な消費をなくすように心がける	278	55.6%
2	省エネなど地球温暖化防止に配慮したライフスタイルを心がける	168	33.6%
3	山や川、海など自然のなかへ出かけるときは、ごみ捨てなどのマナーを守り、自然を汚さないように努める	129	25.8%
4	地産地消を心がけ、旬の食材や自分が住んでいる地域でとれたものを食べる	114	22.8%
5	海、山、川などに行き、身近な自然を楽しく経験する	95	19.0%
6	外来種(*2)をペットとして飼ったり、栽培するときは責任を持って行い、放したり捨てたりしないようにする	68	13.6%
7	清掃活動に参加するなど、まちの美化に努める	47	9.4%
8	生物多様性に配慮した認証製品(*1)や生物多様性保全に貢献している企業の商品やサービスを選ぶ	44	8.8%
9	自然観察会などの活動に積極的に参加し、自然に対する理解を深める	28	5.6%
10	里山、農地、ため池など身近な自然環境の保全活動に参加する	23	4.6%
11	外来種(*2)の駆除活動や希少種の保護活動に参加する	18	3.6%
12	その他(具体的に:)	0	0.0%
13	あてはまるものはない	109	21.8%
回答総数		1121	
該当者数		500	



食品ロスなどの無駄な消費をなくすように心がけているご回答した方が最も多くなっている。